



一般社団法人 日本土壤肥料学会 2015 年度（第 38 回）通常総会

[2015 年 4 月 4 日（土）13 時 00 分～14 時 00 分 東京大学山上会館]

次 第

開会

会長挨拶

議長選出

議 事

- 第 1 号議案 2014 年度事業報告、事業報告の附属明細書、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告
- 第 2 号議案 2015 年度事業計画案および収支予算案
- 第 3 号議案 役員の新任・退任
- 第 4 号議案 名誉会員の推薦
- 第 5 号議案 総会議事録署名人の選任
- その他 2015 年度年次大会（京都）の開催について
新会長挨拶

閉 会

一般社団法人 日本土壤肥料学会 2015 年度通常総会

議 事

第 1 号議案 2014 年度事業報告、事業報告の附属明細書、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告

I. 2014 (平成 26) 年度事業報告 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

1. 定期刊行物および資料の刊行

(1) 定期刊行物

- 1) 日本土壤肥料学雑誌 (会誌) は、第 85 巻第 2 号～6 号、第 86 巻第 1 号の計 6 冊を刊行した。掲載した論文数等は次のとおりである。報文 20 編、ノート 15 編、技術レポート 7 編、講座 12 編、解説 20 編、資料・国内外情報 16 編、学会賞受賞論文要旨 3 編、技術賞受賞論文要旨 1 編、奨励賞受賞論文要旨 5 編、技術奨励賞受賞論文要旨 1 編、ニュース (地域の動きを含む)、書評、欧文誌 Vol.60 掲載論文要旨、合計 566 頁、ほかに第 85 巻総目次、キーワード索引、著者名索引、会員消息、会誌投稿規程、原稿執筆規程、編集委員会だより、学会だより (土壤教育活動だよりを含む) 等。
- 2) SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION (欧文誌) は、Vol.60, No.2～No.6 および Vol.61, No.1 の計 6 冊を刊行した。掲載した論文数等は、報文 82 編、短報 8 編、会誌報文抄録等、合計 942 頁となった。欧文誌の配布数は、名誉会員 10、正会員 385 (うち海外 20)、学生会員 69 (うち留学生 59)、国内寄贈・交換 6、海外寄贈・交換 22 等であった。
- 3) 日本土壤肥料学会講演要旨集 (第 60 集、307 頁) 900 部を 2014 年度東京大会に際して刊行した。

(2) その他の刊行物

学会編シンポジウムシリーズ「土壌と界面電気現象～基礎から応用まで～」を博友社で製作中である。

2. 講演会および研究会等の開催

(1) 「土と肥料」の講演会

4 月 4 日の通常総会終了後に学士会館において「土と肥料」の講演会を開催した。なお、本講演会は日本学術会議の後援を受けて実施した。テーマを「作物の高収量・高品質生産をめざして～最近における国内外の肥料事情」とし、講演者と演題は日比 健氏「世界の肥料原料需給動向」および吉羽雅昭氏「登録・検査から見た最近の国内肥料事情」であった。

(2) 2014 年度年次大会等

- 1) 東京農工大学(小金井キャンパス)において年次大会を開催した(2014.9.9~11)。
口頭発表は 326 課題、ポスター発表は 195 課題、合計 521 課題であった。年次大会への参加者は 906 名であった。
- 2) シンポジウムについては、以下の通り、公募による 8 テーマ及び大会運営委員会企画による市民公開シンポジウムを実施した。
 - 2 部門: 土壌化学で解く放射性セシウム・土壌鉱物間の反応機構 **Traditional and state of the art approaches**
 - 4 部門: 植物栄養と数理モデルの接点 — 数理モデルで植物栄養の仕組みを理解する
 - 4 部門: **Mineral transport and sensing in plants**
 - 6 部門: 乾田直播研究のシテン
 - 6 部門: 水田土壌の地力低下の実態とその対策
 - 8 部門: 土壌汚染の原位置浄化対策の現状と今後
 - 8 部門: 都市域を含む開発地域の土壌の生成・性状・利用 **Technogenic soils developed on settlements, soil formation, properties and utilization**
 - 9 部門: 「新たな土壌—社会関係を探して」—国際土壌年 (IYS) 2015 に向けて—市民公開シンポジウム: 福島県二本松市 NPO 法人「ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」の放射性 Cs 汚染からの農業復興に関する取り組みと農工大の支援活動報告
- 3) ミニシンポジウムは、以下に示す 2 テーマについて実施した。
 - 3 部門: 「共生・生物間相互作用から見る真核/原核微生物の接点と土壌微生物研究の将来」
 - 8 部門: 「福島での放射性 Cs 吸収抑制対策」
- 4) たましん RISURU ホール「立川市市民会館」において、以下の講演が行われた(2014.9.10)。
 - 第 59 回日本土壌肥料学会賞受賞者
 - ・ 太田寛行: 土壌細菌の分類および群集解析に関する研究
 - ・ 加藤英孝: 黒ボク土におけるイオン吸着・移動過程に関する研究
 - ・ 平館俊太郎: 核磁気共鳴法を利用した土壌中における元素動態の解明
 - 第 19 回日本土壌肥料学会技術賞受賞者
 - ・ 内山知二: 植物を介した土壌改良技術の評価と応用特別講演
 - ・ Prof. Dr. Rainer Horn (IUSS 会長): **Soils are sensitive reactors: Do we need a paradigm change towards a more sustainable soil use?** (反応装置としての土壌: より持続的な利用に向けてのパラダイムの転換は必要か?)
- 5) 第32回日本土壌肥料学会奨励賞受賞者(伊ヶ崎健大、池谷康祐、片柳薫子、神谷岳洋、高田裕介)及び第3回日本土壌肥料学会技術奨励賞受賞者(山本幸洋)の

記念講演については、東京大会一般講演会場で行われた。

- 6) 日本土壌肥科学雑誌論文賞受賞者 (坂口 敦・加藤英孝・家田浩之・中野恵子、藤原伸介・澤田寛子・田中福代・大脇良成・藤山正史・渡邊大治) 及び SSPN Award 受賞者 (Mizuhiko NISHIDA・Hiroyuki SEKIYA・Koji YOSHIDA) については、東京大会ポスター会場に受賞記念ポスターを展示した。

(3) 2014 年度支部大会

- ・北海道支部：平成 26 年度秋季支部大会 2014.12.3 於道民活動振興センター「か
でる 2・7」(札幌市)
- ・東北支部：支部大会 2014.7.7～8 於東北大学・片平さくらホール (仙台市)
- ・関東支部：支部大会 2014.12.6 於山梨大学甲府キャンパス (甲府市)
- ・中部支部：支部例会 2014.11.13 於プラザ萬象 (敦賀市)
- ・関西支部：支部講演会 2014.12.11～12 於サンポートホール高松 (高松市)
- ・九州支部：春季例会 2014.5.8～9 於宮崎県庁企業局庁舎 1F 県電ホール(宮崎市)、
秋季例会 2014.9.24～25 於パピオン 24 (福岡市)

(4) その他

- ・「第 27 回環境工学連合講演会 (2014.5.12 日本学術会議講堂)」を共催した。
- ・「WCSS 2014 プレコングレス (2014.6.2-8)」を共催した。
- ・「20WCSS MARCO ワークショップ (2014.6.7 農環研)」を後援した。
- ・「第 51 回アイソトープ・放射線研究発表会 (2014.7.7～9 東大弥生講堂)」を共
催した。
- ・「日本農芸化学会関東支部主催 高校生のための実験教室 バイオサイエンススク
ール 2014」を共催した (2014.8.6)。
- ・「第 58 回粘土科学討論会 (2014.9.24～27)」を共催した。
- ・「第 9 回高崎量子応用研究シンポジウム (2014.10.9～10)」を協賛した。
- ・「2014 地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展 (2014.10.15～17)」を協賛した。
- ・「第 11 回エコバランス国際会議 (2014.10.27～30)」を協賛した。
- ・「第 24 回環境工学総合シンポジウム 2014 (2014.11.18)」を協賛した。
- ・「第 30 回腐植物質学会講演会 (2014.11.22～23)」を協賛した。
- ・「第 30 回近赤外フォーラム (2014.11.26～28)」を後援した。
- ・「JIRCAS 国際シンポジウム 土壌環境と作物生産－開発途上地域の作物安定生
産のために－ (2014.11.28)」を共催した。

3. 研究の奨励および研究業績の表彰

学会賞等選考委員会 (10.17)、論文賞等選考委員会 (10.17) および第 4 回理事
会 (10.18) において、日本農学賞の候補者、日本土壌肥科学会賞、同奨励賞、同
技術奨励賞、同貢献賞、論文賞および SSPN Award の受賞者が以下のとおり選定
された。

- ・第 60 回 日本土壌肥科学会賞

加藤好武：日本における農耕地土壌情報のシステム化とその利用に関する研究
藤山英保：塩ストレス、特にソーダ質土壌障害に対する植物の応答に関する栄養生理学的研究

横山 正：バイオ肥料微生物の特性解明とその利用

・第33回 日本土壌肥料学会奨励賞

池永 誠：植物共存微生物の多様性と動態に関する分子生態学的研究

小宮山鉄兵：リンを中心とした肥料成分の化学形態に基づいた家畜排泄物の有効利用に関する研究

中尾 淳：土壌による放射性セシウム固定の規定要因解析とその応用に関する研究

野副朋子：ムギネ酸類分泌の分子機構に関する研究

藤井一至：プロトン収支法を用いた森林・耕地土壌の酸性化機構の解明

・第4回 日本土壌肥料学会技術奨励賞

種村竜太：キュウリにおける窒素の吸収・移行特性に基づく環境に配慮した循環型養液栽培技術の確立

長坂克彦：スイートコーンを基幹とした多毛作地域における環境保全型土壌施肥管理技術および同残さの有効利用技術の提言と普及

・第4回 日本土壌肥料学会貢献賞

坪井正規・北村耕作：土壌・作物体分析機器の開発・供給等による土壌肥料関連分野の研究発展に対する寄与ならびに長年にわたる学会活動支援

・日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞者

日高秀俊・新妻成一・小宮山鉄兵・藤澤英司：トルオーグ法抽出液を用いた多成分同時抽出

藤田裕・清水明・江口定夫・板橋直・折本善之・飯村強：黒ボク土ナシ園における豚糞堆肥の窒素肥効を考慮した施肥法の窒素収支改善効果

・SSPN AWARD 受賞者

Yusuke Takata・Kazunori Kohyama・Hiroshi Obara・Yuji Maejima・Naoki Ishitsuka・Takashi Saito・Ichiro Taniyama：Spatial prediction of radioactive Cs concentration in agricultural soil in eastern Japan

4. 内外の研究者、技術者、他学会等との連絡および協力

(1) 日本農学会関係

- ・平成26年度日本農学会シンポジウム（統一テーマ：ここまで進んだ！飛躍する農業 2014.10.4 東京大学弥生講堂）を後援し、運営に協力した。当学会からは、南澤 究氏が「微生物ゲノム情報を圃場で生かすー作物根圏からの温室効果ガス発生を制御するためにー」について講演した。

(2) 日本学術会議関係

- ・日本学術会議土壌科学分科会と IUSS 分科会の合同会議が開催され（12.25）、南條正巳氏（東北大学）が両分科会の委員長に選定された。

(3) IUSS、ESAFS 関係

- ・ GSP (Global Soil Partnership) にパートナーとして申請し、登録された。
- ・ WCSS プレ巡検 (2014.6.2~7) を実施した。
- ・ WCSS Soil Judging Contest に参加し、日本チームは 3 位入賞を果たした。
- ・ WCSS (2014.6.8~13 Jeju 韓国) に代表者を派遣した。
- ・ 東京大会に Prof. Dr. Rainer Horn 氏 (IUSS 会長) を招聘した (2014.9.10)。

(4) 定期刊行物の寄贈・交換

内外の研究機関に対して定期刊行物を寄贈・交換した。

- ・ 日本土壌肥科学雑誌 国内 10、国外 14
- ・ Soil Science and Plant Nutrition 国内 5、国外 20

(5) その他

- ・ 第 13 回日本農学進歩賞を伊ヶ崎健大氏 (国際農林水産業研究センター) が受賞した (2014.11.28)。
- ・ 山谷知行氏 (東北大学大学院農学研究科) の平成 27 年度日本農学賞受賞が決定した (2015.1.27)。

5. 本学会の委員会等活動

(1) 企画委員会

企画委員会では、「土と肥料」の講演会を企画し、学士会館で開催した(2014.4.4)。次年度も、2015 年度第 38 回総会后 (2015.4.4) に日本学術会議の後援を受けて「土と肥料」の講演会を開催する。

(2) 土壌教育委員会

- ・ 平成 26 年度第 55 回科学技術週間のイベントとして平成 26 年度第 1 回子供科学教室「親と子の土の教室－光る泥だんごをつくろう！」を東京農工大学小金井キャンパス科学博物館で開催した (2014.4.20)。
- ・ 日本大学 (藤沢市) において、日本農芸化学会関東支部主催の「高校生のための実験教室 バイオサイエンス・スクール 2014」を日本大学生物資源科学部生命化学科、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会とともに共催した (2014.8.6)。
- ・ 2014 年 2 月に発行した新版「土壌の観察・実験テキスト－土壌を調べよう！－」を 1,000 部増刷し、年次大会 (東京) およびエコプロダクツ 2014 において配布した。増刷にあたり、表紙および裏表紙に「2015 国際土壌年 (International Year of Soils 2015)」の解説を記載した。
- ・ 東京大会において「高校生ポスター発表」を開催した (2014.9.9)。
- ・ 学習指導要領の次期改訂に向けた「土壌教育に関する要望書」を作成し、文部科学大臣並びに中央教育審議会会長に提出した (2015.1.29)。

(3) 事務所移転推進委員会

- ・ 事務所移転先として複数の物件を内覧し検討した結果、当委員会として候補物件を選定し、第 2 回理事会 (2014.6.21) に諮り、東京都文京区本郷 5 丁目 23 番

13号タムラビル10階の賃貸物件に移転することを決定した。

- ・不動産業者より上記物件の契約書・重要事項説明書・賃貸借保証委託契約書入手し、契約内容等について、当委員会で検討した（2014.6.23）。不動産業者宛に事務所賃貸借契約に関する質問・要望書を送り文書で回答を要請した（2014.6.30～7.3）。また、契約内容について第三者不動産業者に相談しアドバイスを得た（2014.7.3）。
- ・引越業者を選定し、引越費用の見積り、什器の調達等について打合せを行った（2014.7.17）。
- ・新事務所の賃貸借に関する契約を7月24日に締結し、8月5日に移転した。
- ・旧事務所建物の売却について、仲介業者の選定から売却決定並びに契約までの一連の作業を当委員会が対応することが、理事会のみなし決議で承認された（2014.12.2）。
- ・前述の承認を受け、当委員会は、大手不動産業者に仲介を委託し、入札を実施して旧事務所の売却先を定め、売買契約を結び（2014.12.26）、残金決済を行って売却を完了した（2015.1.27）。

(4) 広報委員会

- ・日本土壌肥料学会 Facebook のグループを作成して試行的に運用した結果、とくに問題がないと考えられたので、公開した（2014.9.1）。
- ・メーリングリストについて検討しており、第3回理事会（2014.8.2）において、情報を配信するメールマガジンとして来年度から運用することが承認された。
- ・「エコプロダクツ 2014」に日本ペドロロジー学会と隣接するブースで出展した（2014.12.11～13）。

(5) 国際土壌年事業企画委員会および実行委員会

- ・国際土壌年 2015 に関わる活動の企画委員会（2014.8）を設置して検討を開始するとともに、実行委員会（小崎委員長）を設置して順次活動を開始した（2014.12）。
- ・「国際土壌年と土壌の重要性に関する啓発活動へのご支援のお願いに関する趣意書」を作成し、各企業・団体に対して、資金の寄附を含め、啓発活動への支援を呼びかけた（2014.10）。
- ・毎日小学生新聞（2014.11.2）、日本農業新聞（2014.12.5、2015.1.1-3）、十勝毎日新聞（2014.12.5）、しんぶん赤旗（2015.1.10）、読売新聞（2015.1.15）、日本経済新聞（2015.1.24）等において、国際土壌年と世界土壌デー、土壌の重要性に関する記事や関連イベント情報が掲載された。
- ・日本ペドロロジー学会と共催で、土壌フォトコンテストを開催している。応募期間は2014年10月6日から2015年5月31日までであり、6月に審査し、入賞作品については日本土壌肥料学会 web サイトにおいて発表する。
- ・日本ペドロロジー学会と共催で「世界土壌デー記念講演会および展示解説」（2014.12.5-7 国立科学博物館）を開催した。
- ・日本語版公式ロゴを作成するとともに、シールを作成・配布した。

6. 会務報告

(1) 会員の動向

1) 2015年2月末における会員数は次のとおりである。

正会員 1,886名（うち会費免除会員 94名、外国正会員 36名）、賛助会員 46社、名誉会員 11名、学生会員 309名（うち留学生 63名）、国内団体購読会員 113団体 合計 2,365名

2) 2014年度中の入退会者数は次のとおりである。

入会：正会員 63名（うち海外正会員 5名）、学生会員 140名（うち留学生 21名）、国内団体購読会員 2団体 合計 205名

退会：正会員 140名（うち会費免除会員 7名、海外正会員 7名）、賛助会員 1社、名誉会員 1名、学生会員 129名（うち留学生 15名）、国内団体購読会員 3団体 合計 274名

(2) 会議

1) 総会：2014年4月4日、学士会館において第37回通常総会が開催された。本総会においては、①2013年度事業報告、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告、②2014年度事業計画案および収支予算案、③名誉会員の推薦、④総会議事録署名人の選任について審議され、各議案とも、原案どおり議決または承認された。その議事録を会誌85巻第3号に掲載した。

2) 理事会：学会事務所において6回、本郷ファーストビルにおいて1回開催され、所要の事項・会務を報告・審議した。その議事録を会誌のニュース欄に掲載した。主要な議題は、平成27年度日本農学会シンポジウムのテーマ案、東京大会での学会賞等授賞式並びに記念講演のタイムスケジュールと公募シンポジウムの課題構成案、学会賞等受賞候補者の募集及び選考に関する内規の改訂案、国立情報学研究所電子図書館事業の終了に伴う今後の対策、事務所移転先の確定と契約・移転の時期、旧事務所建物の売却、国際土壌年関連のイベント等の企画、若手会員海外渡航費の支援、共催・後援・協賛等の申請、細則23条による会費免除の申請、入退会者の承認等であり、各々について審議した。

3) 部門長会議：①第1回部門長会議（2014.4.4）では、東京大会の準備状況について鈴木大会運営委員長より報告がなされた。口頭発表・シンポジウム・ポスター発表の会場として東京農工大学小金井キャンパス講義棟等、授賞式・記念講演会の会場としてたましんRISURUホール（立川市市民会館）が確保されている。テーマ公募によるシンポジウムが8件、その他、大会運営委員会から公開シンポジウムが1件開催されることとなった。また、テーマ総説として「東日本大震災による津波被災農地の実態と除塩対策（仮題）」について検討した。会誌への掲載は第86巻第3号（平成27年6月）以降になることを想定している。②第2回部門長会議（2014.6.6）においては、東京大会のプログラム編成、ポスター賞の選考基準、シンポジウムシリーズの出版に関する今後の対応、議長・副議長の交代等について審議した。

4) 2014年度学会賞等選考委員会：学会事務所において、会長を議長として開催され、第60回日本土壌肥料学会賞、第20回日本土壌肥料学会技術賞、第33回日本土壌肥料学会奨励賞、第4回日本土壌肥料学会技術奨励賞および第4回日本土壌肥料学会貢献賞の受賞者を選考した(2014.10.17)。また、同日午前、学会事務所において、論文賞選考委員会を開催し、日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞論文と、SSPN Award 受賞論文を選考した。それらの結果は第4回理事会での承認を経て、会誌85巻第6号に掲載した。

5) 会誌編集関係：常任編集委員会を5回、地域担当編集委員との合同編集委員会を1回開催した。①投稿状況については、例年に比べて報文・ノートの投稿数が少ないことから、投稿促進の工夫が必要である。②放射能土壌汚染対策特集号については当初第85巻第1号を予定していたが、時期を変更し、第2号として発行した。

6) 欧文誌編集関係：①SSPN投稿・編集状況が報告された。投稿数は1月から12月までに395編と、例年に比べてもかなり多い状況である。②SSPN特集号・特集シリーズとして、放射能汚染、iLEAPS、砂漠化、都市域土壌、WCSS、ICOBTEの6件が企画・製作中である。③T&F社との契約更新について検討中である。

7) 支部における会議

北海道支部：第1回支部評議員会(2014.6.4 北海道大学百年記念会館)が開催された。第2回支部評議員会および支部総会(2014.12.3 道民活動振興センター「かでの2・7」)が開催された。

東北支部：支部役員会および支部総会(2014.7.7 東北大学 仙台市)が開催された。

関東支部：支部幹事会および支部総会(2014.12.6 山梨大学甲府キャンパス)が開催された。

中部支部：154回支部評議員会(2014.5.22 名古屋国際センター)が開催された。

155回支部評議員会および75回支部総会(2014.11.13 福井県敦賀市プラザ萬象)が開催された。

関西支部：関西土壌肥料協議会との共催による役員会(2014.12.12 高松市サンポートホール高松)が開催された。

九州支部：支部総会、支部常議員会、2014年度支部賞選考委員会および若手討論会(2014.5.8 宮崎大学)が開催された。

(3) その他

・東京農工大学府中キャンパス、小金井キャンパスを中心に開催された日本土壌肥料学会若手の会(2014.9.12~14)について開催費用の一部を支援した。

・若手会員の海外学会等の参加渡航費補助金支給者の選考を行い、前期1名、後期3名に支給することを決定し、渡航費の一部を支援した。

・2016年度年次大会は染谷 孝氏(佐賀大)を大会運営委員長とし、2016年9月20日(火)~22日(木)、佐賀大学において開催することを決定した(2014.12.21)。

Ⅱ. 2014（平成26）年度事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書として記載すべき事項はない。

Ⅲ. 2014（平成 26）年度収支決算報告書

一般正味財産増減の部

1. 事務所移転関連

当年度は、これまで本学会が保有し使用してきた東京都文京区本郷六丁目の旧事務所を売却し、同五丁目の賃貸物件に新事務所を構えたことが、決算上大きな影響を与えた。

主たるものは次の通りである。

| | |
|-----------------------------|----------|
| 旧事務所の売却益 | 1,587 万円 |
| (経常増減の部／経常収益／雑収入／雑収益 に含まれる) | |
| 新事務所用什器備品購入 | 199 万円 |
| (経常増減の部／経常費用／管理費／什器備品費) | |
| 新事務所賃料等 | 269 万円 |
| (経常増減の部／経常費用／管理費／事務所賃料等) | |
| 新事務所賃貸借保証料 | 20 万円 |
| (経常増減の部／経常費用／管理費／事務所賃貸借保証料) | |
| 事務所引越等費用 | 113 万円 |
| (経常外増減の部／経常外費用／雑損失) | |

2. 経常増減の部の経常収益

予算額より 1,809 万円増の 7,025 万円であった。

(1) 予算額に対して増加割合の大きな収益科目

⑤事業収益／会誌委託販売、同／欧文誌投稿料・別刷り代等、同／支部大会収入、⑨受託収入、⑩雑収入であった。雑収入／雑収益は 1,641 万円であるが、これは旧事務所売却益の 1,587 万円が含まれることによる。

(2) 予算額に対して減少割合の大きな科目

④受取会費および⑤事業収入／大会収入であり、正会員受取会費は予算額よりも 118 万円、大会収入は 64 万円、それぞれ少なかった。

3. 経常増減の部の経常費用

予算額より 417 万円減の 5,560 万円であった。

(1) 予算額に対して増加割合の大きな支出科目

②管理費／什器備品費、同／業務委託費であった。いずれも移転関連の費用によるものである。

(2) 予算額に対して減少割合の大きな項目

①事業費／会誌刊行費、同／欧文誌刊行費、同／国際交流費、同／顕彰費、同／女性・若手支援費であった。会誌刊行費は編集費が、欧文誌刊行費は印刷製本費が、いずれも予算額を下回った。

この結果、当期経常増減額は、1,465 万円であった。

4. 経常外増減の部の経常外費用

①雑損失（事務所引越等費用）は、予算額を 187 万円下回る 113 万円であった。経常外収益はなく、この結果、当期経常外増減額は-113 万円であった。

以上の結果、当期一般正味財産増減額は 1,352 万円であった。

一般正味財産期首残高は 1 億 4,093 万円だったので、同期末残高は 1 億 5,446 万円となった。

指定正味財産増減の部

一般正味財産へ 50 万円を振り替えた。この結果、指定正味財産期末残高は 0 円となった。

以上の結果から、正味財産期末残高は 1 億 5,446 万円となった。

予算対比正味財産増減計算書【管理費配賦前】
2014(平26)年3月1日から2015(平27)年2月28日まで

1/2

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 増 減 | 備考 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------------------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| ① 基本財産運用益 | 1,500 | 2,437 | △ 937 | |
| 基本財産受取利息 | (1,500) | (2,437) | △ 937 | |
| ② 特定資産運用益 | 0 | 20,290 | △ 20,290 | |
| 特定資産受取利息 | (0) | (20,290) | △ 20,290 | |
| ③ 受取入金 | 600,000 | 585,000 | 15,000 | |
| 受取入金 | (600,000) | (585,000) | 15,000 | 3,000円×195人 |
| ④ 受取会費 | 28,930,000 | 27,088,000 | 1,842,000 | |
| 正会員受取会費 | (19,000,000) | (17,825,000) | 1,175,000 | 10,000円×1,782人 |
| 学生会員受取会費 | (1,800,000) | (2,087,000) | △ 287,000 | 6,000円×347人 |
| 団体会員受取会費 | (2,800,000) | (2,340,000) | 460,000 | 20,000円×117団体 |
| 欧文誌購読会費受取会費 | (2,580,000) | (2,136,000) | 444,000 | 6,000円×356人 |
| 賛助会員受取会費 | (2,750,000) | (2,700,000) | 50,000 | 50,000円×54口 |
| ⑤ 事業収益 | 21,284,000 | 23,295,455 | △ 2,011,455 | |
| 会誌刊行等事業収益 | (12,964,000) | (15,050,055) | △ 2,086,055 | |
| 会誌委託販売 | (1,200,000) | (1,179,360) | 20,640 | |
| 会誌投稿料・別刷り代等 | (2,700,000) | (3,151,790) | △ 451,790 | 85(2)～86(1) |
| 会誌バックナンバー等 | (10,000) | (0) | 10,000 | |
| 欧文誌委託販売 | (3,500,000) | (3,859,768) | △ 359,768 | Taylor & Francis |
| 欧文誌投稿料・別刷代等 | (5,444,000) | (6,699,449) | △ 1,255,449 | 60(2)～61(1) |
| 欧文誌バックナンバー等 | (10,000) | (0) | 10,000 | |
| 講演要旨集(大会時外) | (0) | (54,600) | △ 54,600 | 3,500円×15部 |
| その他印刷物 | (0) | (0) | 0 | |
| 出版物印税 | (100,000) | (105,088) | △ 5,088 | |
| 大会収入 | (7,520,000) | (6,884,300) | 635,700 | 東京大会 |
| 参加料 | (3,800,000) | (3,550,000) | 250,000 | |
| 発表料 | (570,000) | (521,000) | 49,000 | 1,000円×521題 |
| 講演要旨集(大会時) | (3,150,000) | (2,653,000) | 497,000 | 3,500円×758部 |
| 雑収入 | (0) | (160,300) | △ 160,300 | クレジット手数料収入、参加者弁当代収入 |
| 広告料収入 | (800,000) | (648,000) | 152,000 | |
| 支部大会収入 | (0) | (713,100) | △ 713,100 | 支部大会 |
| ⑥ 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取補助金 | (0) | (0) | 0 | |
| ⑦ 受取助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取助成金 | (0) | (0) | 0 | |
| ⑧ 受取寄付金 | 500,000 | 1,000,000 | △ 500,000 | |
| 受取寄付金 | (0) | (500,000) | △ 500,000 | 国際土壌年事業寄附金 |
| 受取寄附金振替額 | (500,000) | (500,000) | 0 | 過年度寄付金の若手育成への使用 指定正味財産から一般正味財産へ振替 |
| ⑨ 受託収入 | 756,000 | 1,596,000 | △ 840,000 | |
| 受託金 | (756,000) | (1,596,000) | △ 840,000 | 首都大学東京より |
| ⑩ 雑収入 | 90,000 | 16,664,549 | △ 16,574,549 | |
| 受取利息 | (20,000) | (1,807) | 18,193 | |
| 雑収益 | (70,000) | (16,410,895) | △ 16,340,895 | 旧事務所売却益他 |
| 支部雑収入 | (0) | (251,847) | △ 251,847 | |
| 経常収益計 | 52,161,500 | 70,251,731 | △ 18,090,231 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| ① 事業費 | 35,604,036 | 30,285,016 | 5,319,020 | |
| 年次大会開催費 | (7,494,036) | (7,293,750) | 200,286 | 東京大会運営委予算案に基づく |
| 会場費 | (971,000) | (880,614) | 90,386 | |
| 人件費 | (1,032,000) | (761,500) | 270,500 | 学生アルバイト |
| 運営費 | (1,116,344) | (780,045) | 336,299 | 機材、運営諸費用 |
| 年次大会管理費 | (2,593,448) | (3,182,363) | △ 588,915 | 運営業務委託費等 |
| 大会関係印刷費 | (1,781,244) | (1,689,228) | 92,016 | 講演要旨集900冊印刷代 |
| 会誌刊行費 | (13,110,000) | (12,403,250) | 706,750 | 85(2)～86(1) |
| 印刷製本費 | (10,000,000) | (10,269,909) | △ 269,909 | |
| 通信運搬費 | (2,000,000) | (2,109,599) | △ 109,599 | |
| 編集費 | (1,110,000) | (23,742) | 1,086,258 | |
| 欧文誌刊行費 | (5,310,000) | (3,886,368) | 1,423,632 | 60(2)～61(1) |
| 印刷製本費 | (3,600,000) | (2,893,000) | 707,000 | |
| 通信運搬費 | (10,000) | (0) | 10,000 | |
| 編集費 | (1,700,000) | (993,368) | 706,632 | |
| 各種委員会等運営費 | (1,600,000) | (1,381,514) | 218,486 | 土壌教育委、バイオインテック共催費用他 |
| 支部交付金 | (0) | (0) | 0 | |
| 学術交流費 | (100,000) | (0) | 100,000 | |
| 国際交流費 | (800,000) | (234,112) | 565,888 | WCSS会長ら派遣旅費等 |
| 事業関係通信運搬費 | (200,000) | (195,048) | 4,952 | |
| 事業関係雑費 | (200,000) | (313,075) | △ 113,075 | 三崎福包(10月分まで)等 |
| 事業関係業務委託費 | (1,000,000) | (148,071) | 851,929 | SSPN放射線特集号英文校閲 |
| 農学会等分担金 | (270,000) | (301,300) | △ 31,300 | 日本農学会分担金、日本学術協力財団等 |
| HP管理費 | (400,000) | (156,600) | 243,400 | |
| 顕彰費 | (1,010,000) | (620,000) | 390,000 | 学会賞他 |
| 女性・若手支援費 | (1,660,000) | (1,053,822) | 606,178 | 奨励賞、渡航支援、若手の会他 |
| 国際シンポジウム費 | (950,000) | (1,126,233) | △ 176,233 | WCSS7'レコンストラクティブ支援 |
| 支部大会開催費 | (1,500,000) | (1,171,873) | 328,127 | |

次頁に続く

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 増 減 | 備考 |
|---------------|--------------|-------------|--------------|-------------------------|
| ② 管理費 | 24,175,770 | 25,319,967 | △ 1,144,197 | |
| 役員報酬 | (2,400,000) | (2,400,000) | 0 | |
| 給料手当 | (3,600,000) | (3,377,600) | 222,400 | |
| 臨時雇賃金 | (900,000) | (536,500) | 363,500 | |
| 退職給付費用 | (139,500) | (140,000) | △ 500 | 退職給与引当金繰入 |
| 法定福利費 | (150,000) | (62,322) | 87,678 | 労働保険 |
| 福利厚生費 | (600,000) | (486,182) | 113,818 | 社会保険 |
| 会議費 | (382,270) | (559,652) | △ 177,382 | |
| 総会 | (300,000) | (374,656) | △ 74,656 | |
| 理事会 | (20,000) | (24,737) | △ 4,737 | |
| 部門長会 | (32,270) | (1,356) | 30,914 | |
| 選考委員会 | (10,000) | (4,788) | 5,212 | |
| 選挙管理委員会 | (0) | (3,212) | △ 3,212 | |
| その他会議費 | (20,000) | (150,903) | △ 130,903 | 支部会議費等 |
| 旅費交通費 | (4,500,000) | (4,336,580) | 163,420 | |
| 通信運搬費 | (1,000,000) | (1,029,263) | △ 29,263 | |
| 什器備品費 | (300,000) | (1,987,200) | △ 1,687,200 | 移転先中古備品等調達 |
| 消耗品費 | (400,000) | (190,510) | 209,490 | |
| 印刷製本費 | (600,000) | (463,135) | 136,865 | 総会資料、規程集 |
| 事務所賃料等 | (3,000,000) | (2,687,043) | 312,957 | 事務所家賃・共益費 |
| 事務所賃貸借保証料 | (0) | (204,162) | △ 204,162 | 事務所保証委託料 |
| 光熱水料費 | (150,000) | (230,596) | △ 80,596 | |
| 修繕費 | (200,000) | (137,742) | 62,258 | 旧事務所（1月途中まで） |
| 負担費 | (78,000) | (63,952) | 14,048 | 旧事務所（1月途中まで） |
| リース料 | (800,000) | (429,930) | 370,070 | PC、FAX等 |
| 保険料 | (15,000) | (32,320) | △ 17,320 | 火災保険 |
| 租税公課 | (600,000) | (812,037) | △ 212,037 | 消費税、固定資産税、他 |
| 業務委託費 | (4,000,000) | (5,047,215) | △ 1,047,215 | 会員管理、会計業務、移転関連 |
| 雑費 | (80,000) | (106,026) | △ 26,026 | 弥生会計ソフトサポート他 |
| 建物減価償却費 | (281,000) | (0) | 281,000 | |
| 経常費用計 | 59,779,806 | 55,604,983 | 4,174,823 | |
| 当期経常増減額 | △ 7,618,306 | 14,646,748 | △ 22,265,054 | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| ① 雑収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| ① 雑損失 | 3,000,000 | 1,127,304 | 1,872,696 | 移転費用（引越、工事、廃棄等関連業務委託など） |
| 経常外費用計 | 3,000,000 | 1,127,304 | 1,872,696 | |
| 当期経常外増減額 | △ 3,000,000 | △ 1,127,304 | △ 1,872,696 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 10,618,306 | 13,519,444 | △ 24,137,750 | |
| 一般正味財産期首残高 | 140,939,331 | 140,939,331 | 0 | |
| 一般正味財産期末残高 | 130,321,025 | 154,458,775 | △ 24,137,750 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| ① 受取補助金等 | | | | |
| 助成金収入 | | 0 | 0 | |
| 受取寄付金 | | 0 | 0 | |
| 一般正味財産への振替額 | 500,000 | 500,000 | 0 | 過年度寄付金の使用 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 500,000 | △ 500,000 | 0 | |
| 指定正味財産期首残高 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | |
| III 正味財産期末残高 | 130,321,025 | 154,458,775 | △ 24,137,750 | |

財 産 目 録
2015(平27)年2月28日現在

1/2

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|----------------|---------------------|-------------------|-------------------|
| (流動資産) | | | |
| 現金預金 | | | |
| 現金手許有高普通預金 | | 運転資金として | 556,894 |
| | みずほ銀行本郷支店(普)-1 | 運転資金として | 23,391,729 |
| | みずほ銀行(養賢堂)本郷支店(普)-2 | 運転資金として | 16,614,608 |
| | みずほ銀行本郷支店(普)-3 | 運転資金として | 3,679,119 |
| | みずほ銀行本郷支店(普)-4 | 運転資金として | 460,017 |
| | 三菱東京UFJ銀行本郷支店(普)-5 | 運転資金として | 216,907 |
| 郵便振替貯金 | | 運転資金として | 11,805,349 |
| 支部現金預金 | | | 3,846,010 |
| (1) 北海道支部 | | 運転資金として | (468,570) |
| (2) 東北支部 | | 運転資金として | (802,920) |
| (3) 関東支部 | | 運転資金として | (221,935) |
| (4) 中部支部 | | 運転資金として | (363,817) |
| (5) 関西支部 | | 運転資金として | (775,593) |
| (6) 九州支部 | | 運転資金として | (1,213,175) |
| 現金預金合計 | | | 60,570,633 |
| 預け金 | | | 0 |
| 預け金合計 | | | 0 |
| 仮払金 | | | 500,000 |
| (1) 年次大会 | | | 0 |
| (2) 仮払交通費 | | | 0 |
| 仮払金合計 | | | 500,000 |
| 未収金 | | | 2,200,000 |
| (1) 会費(団体会員) | | 2014年度 2,200,000円 | 2,200,000 |
| (2) 会誌投稿料・別刷代 | | 2014年度 390,630円 | 390,630 |
| (3) 欧文誌投稿料・別刷代 | | 2014年度 4,386,449円 | 4,386,449 |
| (4) 広告料 | | 2014年度 129,600円 | 129,600 |
| (5) 講演要旨集 | | | 0 |
| 未収金合計 | | | 7,106,679 |
| 流動資産合計 | | | 68,177,312 |
| (固定資産) | | | |
| 基本財産 | | | |
| 基本財産合計 | みずほ銀行本郷支店(定)-1 | | 10,000,000 |
| | | | 10,000,000 |
| 特定資産 | | | |
| 国際会議準備金積立金 | | | 6,170,000 |
| 女性・若手会員支援事業積立金 | みずほ銀行本郷通支店(定)-2 | | (6,170,000) |
| | | | 17,700,000 |
| 表彰事業積立金 | みずほ銀行本郷支店(定)-3 | | (17,700,000) |
| | | | 2,000,000 |
| 退職給付引当積立預金 | みずほ銀行本郷支店(定)-4 | | (2,000,000) |
| | | | 610,000 |
| | みずほ銀行本郷支店(定)-5 | | (610,000) |
| | | | 26,480,000 |
| 特定資産合計 | | | 26,480,000 |

次頁(2/2)に続く

2/2 前頁(1/2)からの続き

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|
| その他固定資産 | | | |
| 建物改築・移転等積立金 | みずほ銀行本郷支店(定)-6 | | (65,000,000) |
| 保証金 | | | (756,160) |
| その他固定資産合計 | | | 65,756,160 |
| 固定資産合計 | | | 102,236,160 |
| 資産合計 | | | 170,413,472 |
| (流動負債) | | | |
| 未払金 | | | 0 |
| 前受会費 | | 2015年度以降分会費 | 14,199,000 |
| 前受金 | | | 896,972 |
| (1) 固定資産税 | | | (67,532) |
| (2) 首都大学東京受託金 | | | (829,440) |
| 預り金 | | 源泉税・社会保険1月~2月分 | 108,725 |
| 流動負債合計 | | | 15,204,697 |
| (固定負債) | | | |
| (1) 退職給付引当金 | | | 750,000 |
| 負債合計 | | | 15,954,697 |
| 正味財産 | | | 154,458,775 |

貸借対照表
2015(平27)年2月28日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|--------------|--------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 60,570,633 | 44,445,380 | 16,125,253 |
| 預け金 | 0 | 0 | 0 |
| 仮払金 | 500,000 | 510,000 | △ 10,000 |
| 未収金 | 7,106,679 | 6,753,909 | 352,770 |
| 前払金 | 0 | 0 | 0 |
| 流動資産合計 | 68,177,312 | 51,709,289 | 16,468,023 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本財産合計 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 国際会議準備金積立金 | 6,170,000 | 6,170,000 | 0 |
| 女性・若手会員支援積立金 | 17,700,000 | 17,700,000 | 0 |
| 表彰事業積立金 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 |
| 退職給付引当預金 | 610,000 | 610,000 | 0 |
| 特定資産合計 | 26,480,000 | 26,480,000 | 0 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 土地 | 0 | 1,263,000 | △ 1,263,000 |
| 建物 | 0 | 5,367,556 | △ 5,367,556 |
| 建物改築・移転等積立金 | 65,000,000 | 65,000,000 | 0 |
| 保証金 | 756,160 | 0 | 756,160 |
| その他固定資産合計 | 65,756,160 | 71,630,556 | △ 5,874,396 |
| 固定資産合計 | 102,236,160 | 108,110,556 | △ 5,874,396 |
| 資産合計 | 170,413,472 | 159,819,845 | 10,593,627 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 0 | 0 | 0 |
| 前受会費 | 14,199,000 | 14,793,000 | △ 594,000 |
| 前受金 | 896,972 | 2,920,000 | △ 2,023,028 |
| 預り金 | 108,725 | 57,514 | 51,211 |
| 流動負債合計 | 15,204,697 | 17,770,514 | △ 2,565,817 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 750,000 | 610,000 | 140,000 |
| 固定負債合計 | 750,000 | 610,000 | 140,000 |
| 負債合計 | 15,954,697 | 18,380,514 | △ 2,425,817 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 女性・若手会員支援積立金 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| 指定正味財産合計 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| (うち基本財産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (0) | (500,000) | (△500,000) |
| 2. 一般正味財産 | 154,458,775 | 140,939,331 | 13,519,444 |
| (うち基本財産への充当額) | (10,000,000) | (10,000,000) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (26,480,000) | (25,980,000) | (500,000) |
| 正味財産合計 | 154,458,775 | 141,439,331 | 13,019,444 |
| 負債及び正味財産合計 | 170,413,472 | 159,819,845 | 10,593,627 |

正味財産増減計算書

2014(平26)年3月1日から2015(平27)年2月28日まで

1/2

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|--------------|--------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 基本財産運用益 | 2,437 | 672 | 1,765 |
| 基本財産受取利息 | (2,437) | (672) | 1,765 |
| ② 特定資産運用益 | (20,290) | (0) | 20,290 |
| 特定資産受取利息 | (20,290) | (0) | 20,290 |
| ③ 受取入会金 | 585,000 | 609,000 | △ 24,000 |
| 受取入会金 | (585,000) | (609,000) | △ 24,000 |
| ④ 受取会費 | 27,088,000 | 27,716,000 | △ 628,000 |
| 正会員受取会費 | (17,825,000) | (18,366,000) | △ 541,000 |
| 学生会員受取会費 | (2,087,000) | (2,042,000) | 45,000 |
| 団体会員受取会費 | (2,340,000) | (2,400,000) | △ 60,000 |
| 欧文誌購読会員受取会費 | (2,136,000) | (2,208,000) | △ 72,000 |
| 賛助会員受取会費 | (2,700,000) | (2,700,000) | 0 |
| ⑤ 事業収益 | 23,295,455 | 22,616,479 | 678,976 |
| 印刷物収入 | (15,050,055) | (14,616,379) | 433,676 |
| 大会収入 | (6,884,300) | (6,410,600) | 473,700 |
| 広告料収入 | (648,000) | (787,500) | △ 139,500 |
| 支部大会収入 | (713,100) | (802,000) | △ 88,900 |
| ⑥ 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 |
| 受取補助金 | (0) | (0) | 0 |
| ⑦ 受取助成金 | 0 | 0 | 0 |
| 受取助成金 | (0) | (0) | 0 |
| ⑧ 受取寄付金 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 |
| 受取寄付金 | (500,000) | (0) | 500,000 |
| 受取寄附金振替額 | (500,000) | (0) | 500,000 |
| ⑨ 受託収益 | 1,596,000 | 1,075,200 | 520,800 |
| 受託収益 | (1,596,000) | (1,075,200) | 520,800 |
| ⑩ 雑収入 | 16,664,549 | 960,367 | 15,704,182 |
| 受取利息 | (1,807) | (19,571) | △ 17,764 |
| 雑収益 | (16,410,895) | (696,089) | 15,714,806 |
| 支部雑収入 | (251,847) | (244,707) | 7,140 |
| 経常収益計 | 70,251,731 | 52,977,718 | 17,274,013 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | 44,534,356 | 39,127,417 | 5,406,939 |
| 年次大会開催費 | (7,293,750) | (6,334,488) | 959,262 |
| 会誌刊行費 | (12,403,250) | (11,214,155) | 1,189,095 |
| 欧文誌刊行費 | (3,886,368) | (4,259,108) | △ 372,740 |
| 各種委員会等運営費 | (1,381,514) | (797,588) | 583,926 |
| 支部交付金 | (0) | (0) | 0 |
| 学術交流費 | (0) | (20,000) | △ 20,000 |
| 国際交流費 | (234,112) | (509,788) | △ 275,676 |
| 事業関係通信運搬費 | (195,048) | (192,784) | 2,264 |
| 事業関係雑費 | (313,075) | (189,000) | 124,075 |
| 事業関係業務委託費 | (148,071) | (0) | 148,071 |
| 農学会等分担金 | (301,300) | (372,050) | △ 70,750 |
| HP管理費 | (156,600) | (152,250) | 4,350 |
| 顕彰費 | (620,000) | (750,000) | △ 130,000 |
| 女性・若手支援費 | (1,053,822) | (1,065,510) | △ 11,688 |
| 国際シンポジウム費 | (1,126,233) | (950,000) | 176,233 |
| 支部大会開催費 | (1,171,873) | (1,232,083) | △ 60,210 |
| 役員報酬 | (1,680,000) | (1,680,000) | 0 |
| 給料手当 | (2,026,560) | (1,983,360) | 43,200 |
| 臨時雇賃金 | (268,250) | (240,500) | 27,750 |
| 退職給付費用 | (84,000) | (120,000) | △ 36,000 |
| 法定福利費 | (37,393) | (25,738) | 11,655 |
| 福利厚生費 | (291,709) | (293,095) | △ 1,386 |
| 会議費 | (111,930) | (74,838) | 37,092 |
| 旅費交通費 | (2,601,948) | (2,333,116) | 268,832 |
| 通信運搬費 | (823,410) | (565,769) | 257,641 |
| 什器備品費 | (596,160) | (0) | 596,160 |
| 消耗品費 | (57,153) | (33,010) | 24,143 |
| 印刷製本費 | (370,508) | (436,556) | △ 66,048 |
| 事務所賃料等 | (1,612,226) | (0) | 1,612,226 |
| 事務所賃貸借保証料 | (122,497) | (0) | 122,497 |
| 光熱水料費 | (115,298) | (85,574) | 29,724 |
| 修繕費 | (82,645) | (100,800) | △ 18,155 |
| 負担費 | (38,371) | (47,520) | △ 9,149 |
| リース料 | (300,951) | (527,142) | △ 226,191 |
| 業務委託費 | (3,028,329) | (2,372,543) | 655,786 |
| 建物減価償却費 | (0) | (169,052) | △ 169,052 |

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| ② 管理費 | 11,070,627 | 7,588,537 | 3,482,090 |
| 役員報酬 | (720,000) | (720,000) | 0 |
| 給料手当 | (1,351,040) | (1,322,240) | 28,800 |
| 臨時雇賃金 | (268,250) | (240,500) | 27,750 |
| 退職給付費用 | (56,000) | (80,000) | △ 24,000 |
| 法定福利費 | (24,929) | (17,159) | 7,770 |
| 福利厚生費 | (194,473) | (195,396) | △ 923 |
| 会議費 | (447,722) | (299,351) | 148,371 |
| 旅費交通費 | (1,734,632) | (1,555,410) | 179,222 |
| 通信運搬費 | (205,853) | (141,442) | 64,411 |
| 什器備品費 | (1,391,040) | (0) | 1,391,040 |
| 消耗品費 | (133,357) | (77,023) | 56,334 |
| 印刷製本費 | (92,627) | (109,139) | △ 16,512 |
| 事務所賃料等 | (1,074,817) | (0) | 1,074,817 |
| 事務所賃貸借保証料 | (81,665) | (0) | 81,665 |
| 光熱水料費 | (115,298) | (85,574) | 29,724 |
| 修繕費 | (55,097) | (67,200) | △ 12,103 |
| 負担費 | (25,581) | (31,680) | △ 6,099 |
| リース料 | (128,979) | (225,918) | △ 96,939 |
| 保険料 | (32,320) | (12,320) | 20,000 |
| 租税公課 | (812,037) | (552,678) | 259,359 |
| 業務委託費 | (2,018,886) | (1,581,696) | 437,190 |
| 雑費 | (106,026) | (161,109) | △ 55,083 |
| 減価償却費 | (0) | (112,702) | △ 112,702 |
| 経常費用計 | 55,604,983 | 46,715,954 | 8,889,029 |
| 当期経常増減額 | 14,646,748 | 6,261,764 | 8,384,984 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| ① 固定資産取崩益 | 0 | 0 | 0 |
| ② 固定資産評価益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| ① 雑損失 | 1,127,304 | 0 | 1,127,304 |
| 経常外費用計 | 1,127,304 | 0 | 1,127,304 |
| 当期経常外増減額 | △ 1,127,304 | 0 | △ 1,127,304 |
| 当期一般正味財産増減額 | 13,519,444 | 6,261,764 | 7,257,680 |
| 一般正味財産期首残高 | 140,939,331 | 134,677,567 | 6,261,764 |
| 一般正味財産期末残高 | 154,458,775 | 140,939,331 | 13,519,444 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| ① 受取補助金等 | | | |
| 助成金収入 | 0 | 0 | 0 |
| 受取寄付金 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | 500,000 | 0 | 500,000 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 500,000 | 0 | △ 500,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| III 正味財産期末残高 | 154,458,775 | 141,439,331 | 13,019,444 |

正味財産増減計算書（内訳表）
2014（平26）年3月1日から2015（平27）年2月28日まで

1/2

（単位：円）

| 科 目 | 実施事業等会計 | 法人会計 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | |
| ① 基本財産運用益 | 0 | 2,437 | 2,437 | 672 | 1,765 |
| 基本財産受取利息 | (2,437) | (0) | (2,437) | (672) | 1,765 |
| ② 特定資産運用益 | 0 | 20,290 | (20,290) | (0) | 20,290 |
| 特定資産受取利息 | (20,290) | (0) | (20,290) | (0) | 20,290 |
| ③ 受取入会金 | 0 | 585,000 | 585,000 | 609,000 | △ 24,000 |
| 受取入会金 | (0) | (585,000) | (585,000) | (609,000) | △ 24,000 |
| ④ 受取会費 | 0 | 27,088,000 | 27,088,000 | 27,716,000 | △ 628,000 |
| 正会員受取会費 | (0) | (17,825,000) | (17,825,000) | (18,366,000) | △ 541,000 |
| 学生会員受取会費 | (0) | (2,087,000) | (2,087,000) | (2,042,000) | 45,000 |
| 団体会員受取会費 | (0) | (2,340,000) | (2,340,000) | (2,400,000) | △ 60,000 |
| 欧文誌購読会員受取会費 | (0) | (2,136,000) | (2,136,000) | (2,208,000) | △ 72,000 |
| 賛助会員受取会費 | (0) | (2,700,000) | (2,700,000) | (2,700,000) | 0 |
| ⑤ 事業収益 | 23,295,455 | 0 | 23,295,455 | 22,616,479 | 678,976 |
| 印刷物収入 | (15,050,055) | (0) | (15,050,055) | (14,616,379) | 433,676 |
| 大会収入 | (6,884,300) | (0) | (6,884,300) | (6,410,600) | 473,700 |
| 広告料収入 | (648,000) | (0) | (648,000) | (787,500) | △ 139,500 |
| 支部大会収入 | (713,100) | (0) | (713,100) | (802,000) | △ 88,900 |
| ⑥ 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取補助金 | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 |
| ⑦ 受取助成金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取助成金 | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 |
| ⑧ 受取寄付金 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 |
| 受取寄付金 | (500,000) | (0) | (500,000) | (0) | 500,000 |
| 受取寄附金振替額 | (500,000) | (0) | (500,000) | (0) | 500,000 |
| ⑨ 受託収益 | 0 | 1,596,000 | 1,596,000 | 1,075,200 | 520,800 |
| 受託収益 | (0) | (1,596,000) | (1,596,000) | (1,075,200) | 520,800 |
| ⑩ 雑収入 | 0 | (16,664,549) | 16,664,549 | 960,367 | 15,704,182 |
| 受取利息 | (0) | (1,807) | (1,807) | (19,571) | △ 17,764 |
| 雑収益 | (0) | (16,410,895) | (16,410,895) | (696,089) | 15,714,806 |
| 支部雑収入 | (0) | (251,847) | (251,847) | (244,707) | 7,140 |
| 経常収益計 | 24,295,455 | 45,956,276 | 70,251,731 | 52,977,718 | 17,274,013 |
| (2) 経常費用 | | | | | |
| ① 事業費 | 44,534,356 | 0 | 44,534,356 | 39,127,417 | 5,406,939 |
| 年次大会開催費 | (7,293,750) | (0) | (7,293,750) | (6,334,488) | 959,262 |
| 会誌刊行費 | (12,403,250) | (0) | (12,403,250) | (11,214,155) | 1,189,095 |
| 欧文誌刊行費 | (3,886,368) | (0) | (3,886,368) | (4,259,108) | △ 372,740 |
| 各種委員会等運営費 | (1,381,514) | (0) | (1,381,514) | (797,588) | 583,926 |
| 支部交付金 | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 |
| 学術交流費 | (0) | (0) | (0) | (20,000) | △ 20,000 |
| 国際交流費 | (234,112) | (0) | (234,112) | (509,788) | △ 275,676 |
| 事業関係通信運搬費 | (195,048) | (0) | (195,048) | (192,784) | 2,264 |
| 事業関係雑費 | (313,075) | (0) | (313,075) | (189,000) | 124,075 |
| 事業関係業務委託費 | (148,071) | (0) | (148,071) | (0) | 148,071 |
| 農学会等分担金 | (301,300) | (0) | (301,300) | (372,050) | △ 70,750 |
| HP管理費 | (156,600) | (0) | (156,600) | (152,250) | 4,350 |
| 顕彰費 | (620,000) | (0) | (620,000) | (750,000) | △ 130,000 |
| 女性・若手支援費 | (1,053,822) | (0) | (1,053,822) | (1,065,510) | △ 11,688 |
| 国際シンポジウム費 | (1,126,233) | (0) | (1,126,233) | (950,000) | 176,233 |
| 支部大会開催費 | (1,171,873) | (0) | (1,171,873) | (1,232,083) | △ 60,210 |
| 役員報酬 | (1,680,000) | (0) | (1,680,000) | (1,680,000) | 0 |
| 給料手当 | (2,026,560) | (0) | (2,026,560) | (1,983,360) | 43,200 |
| 臨時雇賃金 | (268,250) | (0) | (268,250) | (240,500) | 27,750 |
| 退職給付費用 | (84,000) | (0) | (84,000) | (120,000) | △ 36,000 |
| 法定福利費 | (37,393) | (0) | (37,393) | (25,738) | 11,655 |
| 福利厚生費 | (291,709) | (0) | (291,709) | (293,095) | △ 1,386 |
| 会議費 | (111,930) | (0) | (111,930) | (74,838) | 37,092 |
| 旅費交通費 | (2,601,948) | (0) | (2,601,948) | (2,333,116) | 268,832 |
| 通信運搬費 | (823,410) | (0) | (823,410) | (565,769) | 257,641 |
| 什器備品費 | (596,160) | (0) | (596,160) | (0) | 596,160 |
| 消耗品費 | (57,153) | (0) | (57,153) | (33,010) | 24,143 |
| 印刷製本費 | (370,508) | (0) | (370,508) | (436,556) | △ 66,048 |
| 事務所賃料等 | (1,612,226) | (0) | (1,612,226) | (0) | 1,612,226 |
| 事務所賃貸借保証料 | (122,497) | (0) | (122,497) | (0) | 122,497 |
| 光熱水料費 | (115,298) | (0) | (115,298) | (85,574) | 29,724 |
| 修繕費 | (82,645) | (0) | (82,645) | (100,800) | △ 18,155 |
| 負担費 | (38,371) | (0) | (38,371) | (47,520) | △ 9,149 |
| リース料 | (300,951) | (0) | (300,951) | (527,142) | △ 226,191 |
| 業務委託費 | (3,028,329) | (0) | (3,028,329) | (2,372,543) | 655,786 |
| 建物減価償却費 | (0) | (0) | (0) | (169,052) | △ 169,052 |

| 科 目 | 実施事業等会計 | 法人会計 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ② 管理費 | 0 | 11,070,627 | 11,070,627 | 7,588,537 | 3,482,090 |
| 役員報酬 | (0) | (720,000) | (720,000) | (720,000) | 0 |
| 給料手当 | (0) | (1,351,040) | (1,351,040) | (1,322,240) | 28,800 |
| 臨時雇賃金 | (0) | (268,250) | (268,250) | (240,500) | 27,750 |
| 退職給付費用 | (0) | (56,000) | (56,000) | (80,000) | △ 24,000 |
| 法定福利費 | (0) | (24,929) | (24,929) | (17,159) | 7,770 |
| 福利厚生費 | (0) | (194,473) | (194,473) | (195,396) | △ 923 |
| 会議費 | (0) | (447,722) | (447,722) | (299,351) | 148,371 |
| 旅費交通費 | (0) | (1,734,632) | (1,734,632) | (1,555,410) | 179,222 |
| 通信運搬費 | (0) | (205,853) | (205,853) | (141,442) | 64,411 |
| 什器備品費 | (0) | (1,391,040) | (1,391,040) | (0) | 1,391,040 |
| 消耗品費 | (0) | (133,357) | (133,357) | (77,023) | 56,334 |
| 印刷製本費 | (0) | (92,627) | (92,627) | (109,139) | △ 16,512 |
| 事務所賃料等 | (0) | (1,074,817) | (1,074,817) | (0) | 1,074,817 |
| 事務所賃借保証料 | (0) | (81,665) | (81,665) | (0) | 81,665 |
| 光熱水料費 | (0) | (115,298) | (115,298) | (85,574) | 29,724 |
| 修繕費 | (0) | (55,097) | (55,097) | (67,200) | △ 12,103 |
| 負担費 | (0) | (25,581) | (25,581) | (31,680) | △ 6,099 |
| リース料 | (0) | (128,979) | (128,979) | (225,918) | △ 96,939 |
| 保険料 | (0) | (32,320) | (32,320) | (12,320) | 20,000 |
| 租税公課 | (0) | (812,037) | (812,037) | (552,678) | 259,359 |
| 業務委託費 | (0) | (2,018,886) | (2,018,886) | (1,581,696) | 437,190 |
| 雑費 | (0) | (106,026) | (106,026) | (161,109) | △ 55,083 |
| 減価償却費 | (0) | (0) | (0) | (112,702) | △ 112,702 |
| 経常費用計 | 44,534,356 | 11,070,627 | 55,604,983 | 46,715,954 | 8,889,029 |
| 当期経常増減額 | △ 20,238,901 | 34,885,649 | 14,646,748 | 6,261,764 | 8,384,984 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | |
| ① 固定資産取崩益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ② 固定資産評価益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | | |
| ① 雑損失 | 0 | 1,127,304 | 1,127,304 | 0 | 1,127,304 |
| 経常外費用計 | 0 | 1,127,304 | 1,127,304 | 0 | 1,127,304 |
| 当期経常外増減額 | 0 | △ 1,127,304 | △ 1,127,304 | 0 | △ 1,127,304 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 20,238,901 | 33,758,345 | 13,519,444 | 6,261,764 | 7,257,680 |
| 一般正味財産期首残高 | 25,633,238 | 115,306,093 | 140,939,331 | 134,677,567 | 6,261,764 |
| 一般正味財産期末残高 | 5,394,337 | 149,064,438 | 154,458,775 | 140,939,331 | 13,519,444 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | |
| ① 受取補助金等 | | | | | |
| 助成金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取寄付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | 500,000 | 0 | 500,000 | 0 | 500,000 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 500,000 | 0 | △ 500,000 | 0 | △ 500,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 500,000 | 0 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| III 正味財産期末残高 | 5,394,337 | 149,064,438 | 154,458,775 | 141,439,331 | 13,019,444 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

税込処理

2. 会計方針の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---------------|------------|-------|-------|------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 10,000,000 | 0 | 0 | 10,000,000 |
| 小 計 | 10,000,000 | 0 | 0 | 10,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 国際シンポジウム準備積立金 | 6,170,000 | 0 | 0 | 6,170,000 |
| 女性・若手会員支援積立金 | 17,700,000 | 0 | 0 | 17,700,000 |
| 表彰事業基金積立金 | 2,000,000 | 0 | 0 | 2,000,000 |
| 退職給付引当預金 | 610,000 | 0 | 0 | 610,000 |
| 小 計 | 26,480,000 | 0 | 0 | 26,480,000 |
| 合 計 | 36,480,000 | 0 | 0 | 36,480,000 |

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額) |
|---------------|------------|------------------|------------------|--------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 10,000,000 | (0) | (10,000,000) | (0) |
| 小 計 | 10,000,000 | (0) | (10,000,000) | (0) |
| 特定資産 | | | | |
| 国際シンポジウム準備積立金 | 6,170,000 | (0) | (6,170,000) | (0) |
| 女性・若手会員支援積立金 | 17,700,000 | (0) | (17,700,000) | (0) |
| 表彰事業基金積立金 | 2,000,000 | (0) | (2,000,000) | (0) |
| 退職給付引当預金 | 610,000 | (0) | (0) | (610,000) |
| 小 計 | 26,480,000 | (0) | (25,870,000) | (610,000) |
| 合 計 | 36,480,000 | (0) | (35,870,000) | (610,000) |

5. 担保に供している資産

なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 債権金額 | 貸倒引当金の当期末残高 | 債権の当期末残高 |
|-----|-----------|-------------|-----------|
| 未収金 | 7,106,679 | 0 | 7,106,679 |
| 合 計 | 7,106,679 | 0 | 7,106,679 |

7. 保証債務等の偶発債務

なし

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増減額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載 区分 |
|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 補助金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 助成金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 内 容 | 金 額 |
|--------------------|---------|
| 経常収益への振替額 受取寄附金 | 500,000 |
| 経常外収益への振替額 | 0 |
| 合 計 | 500,000 |

10. 重要な後発事象

なし

附属明細書
2015年(平27)年2月28日現在

1. 基本財産及び特定資産の明細

『財務諸表に対する注記』の通り

2. 引当金の明細

(単位:円)

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|---------|---------|-------|-----|---------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 610,000 | 140,000 | 0 | 0 | 750,000 |
| | | | | | |

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【26 年度(平成26年3月1日 から 平成27年2月28日 まで)の概要】

| | |
|---|--------------|
| 1. 公益目的財産額 | 134,846,045円 |
| 2. 当該事業年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3)) | 52,866,415円 |
| (1)前事業年度末日の公益目的収支差額 | 32,627,514円 |
| (2)当該事業年度の公益目的支出の額 | 44,534,356円 |
| (3)当該事業年度の実施事業収入の額 | 24,295,455円 |
| 3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額 | 81,979,630円 |
| 4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注 | |
| <p>計画作成時点の見込みに比べ、継1における公益目的支出の額が見込みを下回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を下回ったものである。なお、公益目的支出計画の実施期間があと3年間ある一方、公益目的収支差額の計画額との差額は16,668,785円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間に関しては影響がないと考える。</p> | |

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

| | | |
|--------------------------|-------------------|------------|
| 公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日 | (1)計画上の完了見込み | 平成30年2月28日 |
| | (2)(1)より早まる見込みの場合 | |

| | 前事業年度 | | 当該事業年度 | | 翌事業年度 |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 |
| 公益目的財産額 | 134,846,045円 | 134,846,045円 | 134,846,045円 | 134,846,045円 | 134,846,045円 |
| 公益目的収支差額 | 46,356,800円 | 32,627,514円 | 69,535,200円 | 52,866,415円 | 92,713,600円 |
| 公益目的支出の額 | 43,436,400円 | 39,127,417円 | 43,436,400円 | 44,534,356円 | 43,436,400円 |
| 実施事業収入の額 | 20,258,000円 | 21,021,055円 | 20,258,000円 | 24,295,455円 | 20,258,000円 |
| 公益目的財産残額 | 88,489,245円 | 102,218,531円 | 65,310,845円 | 81,979,630円 | 42,132,445円 |


注:前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

2015年3月11日

監査報告書

一般社団法人 日本土壌肥料学会
会長 小崎 隆 殿

監事 松本 聡 

監事 上沢正志 

私たち監事は、2014年3月1日から2015年2月28日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

第2号議案 2015年度事業計画および収支予算案

I. 2015（平成27）年度事業計画

1. 定期刊行物および資料の刊行

(1) 定期刊行物

日本土壌肥科学雑誌（第86巻第2号～第6号および第87巻第1号の計6冊、A4判、計660頁）、SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION（Vol.61, No.2～No.6, Vol.62, No.1の計6冊、A4判、計1,008pp）および2015年度京都大会に際して日本土壌肥科学会講演要旨集（第61集、A4判、300頁）を刊行する。

(2) その他の刊行物

学会編シンポジウムシリーズとして、「土壌汚染の原位置浄化対策の現状と今後」および「水田土壌の地力低下の実態とその対策」を博友社より刊行する。また、土壌教育委員会では、新「土壌観察ハンドブック」を作成し、自然観察の森の断面観察図集を付録として載せる。

2. 講演会および研究会等の開催、支援

(1) 「土と肥料」の講演会

2015年4月4日、総会終了後に、東大山上会館において「土と肥料」の講演会を開催する。テーマを「国際土壌年によせて」とし、講演者と演題は小崎 隆氏「国際土壌年によせて—私たちは土壌劣化から何を学んだか—」および伊藤 治氏「アフリカサバンナにおける農業開発—土壌肥料的観点からみた現状と問題点—」である。なお、本講演会は日本学術会議の後援を得て実施する。

(2) 2015年度年次大会

2015年9月9日（水）～11日（金）、京都大学吉田南キャンパスおよび同志社大学寒梅館において年次大会を開催する。同期間中、一般講演、ポスターセッション、シンポジウムは9日（水）から11日（金）、学会賞等授賞式、受賞記念講演、懇親会は10日（木）に行う。

シンポジウムのテーマについては、東京大会と同じく会員に公募し、これを基に部門長会議で検討して設定することとしている。

また、学会賞等授賞式では、第60回日本土壌肥科学会賞3名、第33回日本土壌肥科学会奨励賞5名、第4回日本土壌肥科学会技術奨励賞2名、第4回日本土壌肥科学会貢献賞1件（2名）に各賞を授与するとともに、受賞者の記念講演を行い、論文賞およびSSPN Award受賞者については受賞記念ポスターを展示する。

・第60回 日本土壌肥科学会賞受賞者

加藤好武：日本における農耕地土壌情報のシステム化とその利用に関する研究
藤山英保：塩ストレス、特にソーダ質土壌障害に対する植物の応答に関する栄養生理学的研究

横山 正：バイオ肥料微生物の特性解明とその利用

- ・第 33 回 日本土壤肥料学会奨励賞受賞者
 - 池永 誠：植物共存微生物の多様性と動態に関する分子生態学的研究
 - 小宮山鉄兵：リンを中心とした肥料成分の化学形態に基づいた家畜排泄物の有効利用に関する研究
 - 中尾 淳：土壌による放射性セシウム固定の規定要因解析とその応用に関する研究
 - 野副朋子：ムギネ酸類分泌の分子機構に関する研究
 - 藤井一至：プロトン収支法を用いた森林・耕地土壌の酸性化機構の解明
- ・第 4 回日本土壤肥料学会技術奨励賞受賞者
 - 種村竜太：キュウリにおける窒素の吸収・移行特性に基づく環境に配慮した循環型養液栽培技術の確立
 - 長坂克彦：スイートコーンを基幹とした多毛作地域における環境保全型土壌施肥管理技術および同残さの有効利用技術の提言と普及
- ・第 4 回日本土壤肥料学会貢献賞受賞者
 - 坪井正規・北村耕作：土壌・作物体分析機器の開発・供給等による土壌肥料関連分野の研究発展に対する寄与ならびに長年にわたる学会活動支援
- ・日本土壤肥料学雑誌論文賞受賞者
 - 日高秀俊・新妻成一・小宮山鉄兵・藤澤英司：トルオーグ法抽出液を用いた多成分同時抽出
 - 藤田裕・清水明・江口定夫・板橋直・折本善之・飯村強：黒ボク土ナシ園における豚糞堆肥の窒素肥効を考慮した施肥法の窒素収支改善効果
- ・SSPN Award 受賞者
 - Yusuke Takata・Kazunori Kohyama・Hiroshi Obara・Yuji Maejima・Naoki Ishitsuka・Takashi Saito・Ichiro Taniyama：Spatial prediction of radioactive Cs concentration in agricultural soil in eastern Japan

(3) 支部大会等

- ・北海道支部：第 18 回日本土壤肥料学会北海道支部野外巡検(8 月中旬～下旬 十勝管内)および平成 27 年度秋季支部大会・支部総会(2015.12.2 道民活動振興センター「かでの 2・7」)を主催するとともに、第 62 回北海道土壌肥料懇話会シンポジウム(2015.12.3 道民活動振興センター「かでの 2・7」)を共催する。また、第 1 回支部評議員会(2015.6 月上旬 北海道大学)、第 2 回支部評議員会(2015.12.2 道民活動振興センター「かでの 2・7」)を開催する。
- ・東北支部：東北支部大会、支部役員会および支部総会を開催する(秋田県 場所・時期未定)。
- ・関東支部：関東支部群馬大会、支部幹事会および支部総会を開催する(2015.11.28 東洋大学板倉キャンパス)。
- ・中部支部：第 76 回中部支部総会、第 95 回支部例会を開催する(2016.3 初旬 三重県津市周辺)。また、第 156 回支部評議員会(2015.5.22 名古屋市)、第 157 回支部評議員会(2016.3 三重県)を開催する。

- ・関西支部：関西支部講演会並びに関西土壌肥料協議会シンポジウムを開催する（2015 愛媛県 日時未定）。
- ・九州支部：九州支部春季例会、支部賞選考委員会、2015 年度支部常議員会、支部総会並びに若手討論会を開催する（2015.4～5 九州大学）。また、秋季例会を開催する（日時、場所等未定）。

3. 研究の奨励および研究業績の表彰

定款および細則に基づき、第 61 回日本土壌肥料学会賞、第 21 回同技術賞、第 34 回同奨励賞、第 5 回同技術奨励賞、第 5 回同貢献賞、日本土壌肥料学雑誌論文賞、SSPN Award など顕著な業績を挙げた者を表彰する。

4. 内外の研究者、技術者、他学会等との連絡および協力

定期刊行物の国内外との交換、国内関連学会等と共催の研究討論会等を行い、学術交流・国際交流の強化を図る。

- ・農業環境技術研究所公開セミナー「農業生産を支える土の中の小さな生物」（2015.3.17）を後援する。
- ・第 28 回環境工学連合講演会（2015.5.15）を共催する。
- ・日本地球惑星科学連合 2015 年度連合大会（2015.5.24～28）のセッション「流域の水文地質と物質循環流域の水及び物質の輸送と循環—源流域から沿岸域まで—」を協賛する。セッション「土壌学の挑戦と可能性—地球科学・生態学・生物地球化学との接点」を共催する。
- ・第 52 回アイソトープ・放射線研究発表会（2015.7.8～10）を共催する。
- ・「ICOBTE 2015 第 13 回微量元素の生物地球化学に関する国際会議（2015.7.12～16 福岡市）」を共催する。
- ・第 25 回環境工学総合シンポジウム 2015（2015.7.8-10）を協賛する。
- ・「国際第四紀学連合第 19 回大会（2015.7.27～8.2 名古屋）」のセッション「人間活動による人工および天然放射線核種の生物圏への広がりと影響に関する研究」を共催する。セッション「都市土壌の生成」を協賛する。
- ・日本農芸化学会関東支部主催の「バイオサイエンス・スクール」（2015.8）を共催する。
- ・タイ・ペチャブリーにおいて開催される国際土壌年会議（2015.8.17～20）に代表者を派遣する。
- ・「第 12 回東・東南アジア土壌科学連合会議（12th ESAFS 中国・南京 2015.9.18～21）」に代表者を派遣する。
- ・ドイツ・キール大学で開催される国際土壌年会議（2015.9.23～26）に代表者を派遣する。
- ・公益財団法人 農業・環境・健康研究所主催の第 5 回シンポジウム「土壌と人間：国際土壌年 2015 を祝して（2015.10.23）」を協賛する。
- ・「2015 環太平洋国際化学会議（2015.12.15～20 ホノルル）」を後援する。

5. 本学会の委員会等活動

- ・企画委員会：総会終了後に開催する「土と肥料」の講演会を企画する。

- ・ 土壌教育委員会：①科学技術週間のイベントを実施する（2015.4 時期・場所 未定）。②京都大会において高校生ポスター発表会を実施する（2015.9.9～11）。③ 教員研修事業を実施する（時期・場所 未定）。④自然観察の森に土壌断面の説明等が書かれた野外観察板を設置し、研修会を行う（1か所、場所未定）。⑤日本農芸化学会関東支部主催で高校生対象に開催される「バイオサイエンス・スクール」に参加する（2015.8.5 日本大学）。⑥土壌教育プログラムの内容を DVD や YouTube 等を通じて発信する。
- ・ 財政基盤整備委員会：①会員増加対策および退会者減少対策を検討する。②収支バランスのとれた大会運営の確立について検討する。
- ・ 広報委員会：①学会ホームページのさらなる改善を図る。②メールマガジン等による情報発信の活性化を図る。③土壌教育委員会とともにエコプロダクツ 2015 に出展する（2015.12）。
- ・ 欧文誌あり方委員会（仮称）を立ち上げ、欧文誌の今後の方向について検討を開始する。

6. 国際土壌年活動

- ・ 土壌フォトコンテストの募集を継続する。応募期限は 2015 年 5 月 31 日で、6 月に審査し、入賞作品については日本土壌肥料学会 web サイトにおいて発表する。
- ・ 土壌モノリス等の巡回展示：①2015 年度ペドロギー学会大会会場（2015.3.21）、②埼玉県立川の博物館（2015.5.30～6.21）、③東京農工大学科学博物館（2015.6.27～7.11）、④東京スカイツリータウン大昆虫展内（2015.7.18～8.16）、⑤京都大学総合博物館（2015.9.2～9.13）、⑥兵庫県立人と自然の博物館（2015.10.31～11.29（仮））、⑦ミュージアムパーク茨城県自然博物館（2015.12.12～2016.1.24）
- ・ シンポジウム：①「土と肥料」の講演会（2015.4.4 東大山上会館）「国際土壌年によせて」、②京都大会公開シンポジウム（2015.9.11 京都大学吉田南キャンパス）、③日本農学会シンポジウム（2015.10.3）「国際土壌年 2015 と農学研究—社会と命と環境をつなぐ—」
- ・ 国際土壌年記念公開シンポジウム（2015.12.5）を開催する。基調講演は C.W.ニコル氏の予定である。
- ・ 書籍の出版：①農山漁村文化協会より、日本土壌肥料学会編集のブックレット「地球の生命を支える土のことを語ろう～2015 年「世界土壌年」によせて」を発行する。②朝倉書店「土の世界」続編の作成を予定している。
- ・ その他：①国際土壌年記念日本酒の発売、②国際土壌年記念・特別米の発売

7. その他、本学会の目的達成のための事業

- ・ 外部からの顕彰および研究助成の推薦依頼に対応する。
- ・ 規程に基づき、若手正会員及び学生会員の海外学会参加渡航費の一部を支援する。
- ・ 各理事担当の年間業務を整理し、円滑化を図る。

II. 2015(平成27)年度収支予算案

一般正味財産増減の部

1. 国際土壌年関連活動

当期には各種の国際土壌年関連活動が予定されていることから、以下の事業費用予算は従来よりも大幅増額されている(いずれも経常費用/①事業費)。

| | |
|-----------|--------------------------|
| 国際交流費 | 250 万円 (前年度予算額比 170 万円増) |
| 国際シンポジウム費 | 270 万円 (前年度予算額費 179 万円増) |
| 国際土壌年事業費 | 149 万円 (科目新設) |

2. 経常増減の部の経常収益

前年度予算額よりも 81 万円減の 5,135 万円を見込んでいる。主な増減は以下のように見込まれる。

(1) 前年度に比べて増加が見込まれる科目

- ④事業収益/会誌刊行等事業収益は、欧文誌投稿料・別刷代等の 123 万円増が予測され 1,419 万円。

(2) 前年度に比べて減少が見込まれる科目

- ③受取会費は前年度予算額よりも 26 万円減。
- ④事業収益/大会収入は、参加者減の予想により前年度予算額よりも 52 万円減の 699 万円。
- ⑧受託収入受入はない。

3. 経常増減の部の経常費用

前年度予算額よりも 236 万円増の 6,215 万円を見込んでいる。主な増減は以下のように見込まれる(1. で述べた科目を除く)。

(1) 前年度に比べて増加が見込まれる科目

- ①事業費/欧文誌刊行費は 19 万円増。
- ②管理費/会議費/部門長会は 33 万円増。
- 同/光熱水費は 15 万円増。

(2) 前年度に比べて減少が見込まれる科目

- ①事業費/年次大会開催費は前年度予算額よりも 49 万円減の 699 万円。
- 同/会誌刊行費は 19 万円減。
- 同/顕彰費は 40 万円減。
- ②管理費/什器備品費は 25 万円減。
- 同/印刷製本費は 15 万円減。

これらのことから、当期経常増減額は 1,080 万円の赤字が見込まれる。ただしこのうち 560 万円が国際土壌年関連活動に基づくという特殊事情を有する。

指定正味財産増減の部

なし。

以上の結果から、正味財産期末残高は 582 万円減の 1 億 2,450 万円が見込まれる。

(一社) 日本土壌肥料学会2015年度収支予算書(損益ベース)(内訳表)(案)

2015(平成27)年3月1日から2016(平成28)年2月29日まで

1/2

(単位:円)

| 科 目 | 実施事業等会計 | 法人会計 | 予算額 | 前年度予算額 | 備考 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | |
| ① 基本財産運用益 | 0 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | |
| 基本財産受取利息 | (0) | (1,500) | (1,500) | (1,500) | |
| ② 受取入金 | 0 | 600,000 | 600,000 | 600,000 | |
| 受取入金 | (0) | (600,000) | (600,000) | (600,000) | 3,000円×200人 |
| ③ 受取会費 | 0 | 28,670,000 | 28,670,000 | 28,930,000 | |
| 正会員受取会費 | (0) | (19,000,000) | (19,000,000) | (19,000,000) | 10,000円×1,900人 |
| 学生会員受取会費 | (0) | (1,800,000) | (1,800,000) | (1,800,000) | 6,000円×300人 |
| 団体会員受取会費 | (0) | (2,600,000) | (2,600,000) | (2,800,000) | 20,000円×130団体 |
| 欧文誌購読会費 | (0) | (2,520,000) | (2,520,000) | (2,580,000) | 6,000円×420人 |
| 賛助会員受取会費 | (0) | (2,750,000) | (2,750,000) | (2,750,000) | 50,000円×55口 |
| ④ 事業収益 | 21,985,000 | 0 | 21,985,000 | 21,284,000 | |
| 会誌刊行等事業収益 | (14,190,000) | (0) | (14,190,000) | (12,964,000) | |
| 会誌委託販売 | (1,200,000) | (0) | (1,200,000) | (1,200,000) | |
| 会誌投稿料・別刷り代等 | (2,700,000) | (0) | (2,700,000) | (2,700,000) | 86(2)~87(1) |
| 会誌バックナンバー等 | (10,000) | (0) | (10,000) | (10,000) | |
| 欧文誌委託販売 | (3,500,000) | (0) | (3,500,000) | (3,500,000) | Taylor & Francis |
| 欧文誌投稿料・別刷代等 | (6,670,000) | (0) | (6,670,000) | (5,444,000) | 61(2)~62(1) |
| 欧文誌バックナンバー等 | (10,000) | (0) | (10,000) | (10,000) | |
| 講演要旨集(大会時外) | (0) | (0) | (0) | (0) | バックナンバー等 |
| その他印刷物 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| 出版物印税 | (100,000) | (0) | (100,000) | (100,000) | 博友社印税 |
| 大会収入 | (6,995,000) | (0) | (6,995,000) | 7,520,000 | 京都大会運営委予算案に基づく |
| 参加料 | (3,455,000) | (0) | (3,455,000) | (3,800,000) | |
| 発表料 | (540,000) | (0) | (540,000) | (570,000) | |
| 講演要旨集(大会時) | (3,000,000) | (0) | (3,000,000) | (3,150,000) | |
| 広告料 | (800,000) | (0) | (800,000) | (800,000) | |
| 支部大会収入 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| ⑤ 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取補助金 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| ⑥ 受取助成金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取助成金 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| ⑦ 受取寄付金 | 0 | 0 | 0 | 500,000 | |
| 受取寄付金 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| 受取寄附金振替額 | (0) | (0) | (0) | (500,000) | |
| ⑧ 受託収入 | 0 | 0 | 0 | 756,000 | |
| 受託金 | (0) | (0) | (0) | (756,000) | |
| ⑨ 雑収入 | 0 | 90,000 | 90,000 | 90,000 | |
| 受取利息 | (0) | (20,000) | (20,000) | (20,000) | |
| 雑収益 | (0) | (70,000) | (70,000) | (70,000) | 情報システム研究機構還元金、他 |
| 支部雑収入 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| 経常収益計 | 21,985,000 | 29,361,500 | 51,346,500 | 52,161,500 | |
| (2) 経常費用 | | | | | |
| ① 事業費 | 52,170,120 | 0 | 52,170,120 | 49,864,590 | |
| 年次大会開催費 | 6,994,520 | 0 | 6,994,520 | 7,494,036 | 京都大会運営委予算案に基づく |
| 会場費 | (1,820,000) | (0) | (1,820,000) | (971,000) | |
| 人件費 | (840,000) | (0) | (840,000) | (1,032,000) | 学生アルバイト |
| 運営費 | (480,000) | (0) | (480,000) | (1,116,344) | 機材、運営諸費用 |
| 年次大会管理費 | (2,450,520) | (0) | (2,450,520) | (2,593,448) | 受付Web等 |
| 大会関係印刷費 | (1,404,000) | (0) | (1,404,000) | (1,781,244) | 講演要旨集 |
| 会誌刊行費 | 12,920,000 | 0 | 12,920,000 | 13,110,000 | 86(2)~87(1) |
| 印刷製本費 | (10,000,000) | (0) | (10,000,000) | (10,000,000) | |
| 通信運搬費 | (2,000,000) | (0) | (2,000,000) | (2,000,000) | |
| 編集費 | (920,000) | (0) | (920,000) | (1,110,000) | |
| 欧文誌刊行費 | 5,500,000 | 0 | 5,500,000 | 5,310,000 | 61(2)~62(1) |
| 印刷製本費 | (4,300,000) | (0) | (4,300,000) | (3,600,000) | |
| 通信運搬費 | (0) | (0) | (0) | (10,000) | |
| 編集費 | (1,200,000) | (0) | (1,200,000) | (1,700,000) | |
| 各種委員会等運営費 | 1,724,500 | 0 | 1,724,500 | 1,600,000 | 土壌教育費、広報費(エコプロダクツ出張)、他 |
| 支部交付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 学术交流費 | 30,000 | 0 | 30,000 | 100,000 | 土と肥料の講演会 |
| 国際交流費 | 2,495,000 | 0 | 2,495,000 | 800,000 | ESAFSへの会長派遣、京都大会特別講演等 |
| 事業関係通信運搬費 | 200,000 | 0 | 200,000 | 200,000 | |
| 事業関係雑費 | 0 | 0 | 0 | 200,000 | |
| 事業関係業務委託費 | 0 | 0 | 0 | 1,000,000 | |
| 農学会等分担金等 | 270,000 | 0 | 270,000 | 270,000 | 日本農学会分担金、日本学術協力財団 |
| HP管理費 | 189,600 | 0 | 189,600 | 400,000 | HP更新、メルマガ運用 |
| 顕彰費 | 610,000 | 0 | 610,000 | 1,010,000 | 学会賞他 |
| 女性・若手支援費 | 1,660,000 | 0 | 1,660,000 | 1,660,000 | 奨励賞、渡航支援、他 |
| 国際シンポジウム費 | 2,741,000 | 0 | 2,741,000 | 950,000 | |
| 国際土壌年事業費 | 1,485,000 | 0 | 1,485,000 | 0 | |
| 支部大会開催費 | 1,500,000 | 0 | 1,500,000 | 1,500,000 | |

次頁に続く

| 科 目 | 実施事業等会計 | 法人会計 | 予算額 | 前年度予算額 | 備考 |
|---------------|--------------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 役員報酬 | 1,680,000 | | 1,680,000 | 1,680,000 | |
| 給料 | 2,160,000 | | 2,160,000 | 2,160,000 | |
| 法定福利費 | 60,000 | | 60,000 | 90,000 | |
| 福利厚生費 | 360,000 | | 360,000 | 360,000 | |
| 臨時雇い賃金 | 450,000 | | 450,000 | 450,000 | |
| 会議費 | 144,800 | | 144,800 | 76,454 | |
| 旅費・交通費 | 2,700,000 | | 2,700,000 | 2,700,000 | |
| 通信運搬費 | 800,000 | | 800,000 | 800,000 | |
| 什器備品費 | 30,000 | | 30,000 | 90,000 | |
| 消耗品費 | 120,000 | | 120,000 | 120,000 | |
| 印刷製本費 | 280,000 | | 280,000 | 480,000 | |
| 事務所賃料等 | 1,872,000 | | 1,872,000 | 1,800,000 | |
| 光熱水料費 | 150,000 | | 150,000 | 75,000 | |
| 修繕費 | 0 | | 0 | 120,000 | |
| 負担費 | 0 | | 0 | 46,800 | |
| リース料 | 560,000 | | 560,000 | 560,000 | |
| 業務委託費 | 2,400,000 | | 2,400,000 | 2,400,000 | |
| 建物減価償却費 | 0 | | 0 | 168,600 | |
| 退職給付引当金繰入 | 83,700 | | 83,700 | 83,700 | |
| ② 管理費 | | 9,978,000 | 9,978,000 | 9,915,216 | |
| 役員報酬 | | 720,000 | 720,000 | 720,000 | |
| 給料 | | 1,440,000 | 1,440,000 | 1,440,000 | |
| 法定福利費 | | 40,000 | 40,000 | 60,000 | 労働保険 |
| 福利厚生費 | | 240,000 | 240,000 | 240,000 | 健保 |
| 臨時雇い賃金 | | 450,000 | 450,000 | 450,000 | |
| 会議費 | | 579,200 | 579,200 | 305,816 | |
| 総会 | | (240,000) | (240,000) | (240,000) | |
| 理事会 | | (16,000) | (16,000) | (16,000) | |
| 部門長会 | | (291,200) | (291,200) | (25,816) | |
| 選考委員会 | | (8,000) | (8,000) | (8,000) | |
| 選挙管理委員会 | | (0) | (0) | (0) | |
| その他会議費 | | (24,000) | (24,000) | (16,000) | |
| 旅費・交通費 | | 1,800,000 | 1,800,000 | 1,800,000 | |
| 通信運搬費 | | 200,000 | 200,000 | 200,000 | |
| 什器備品費 | | 70,000 | 70,000 | 210,000 | |
| 消耗品費 | | 280,000 | 280,000 | 280,000 | |
| 印刷製本費 | | 70,000 | 70,000 | 120,000 | |
| 事務所賃料等 | | 1,248,000 | 1,248,000 | 1,200,000 | 家賃等12ヶ月分 |
| 事務所賃貸保証料 | | 0 | 0 | 0 | |
| 光熱水料費 | | 150,000 | 150,000 | 75,000 | |
| 修繕費 | | 0 | 0 | 80,000 | |
| 負担費 | | 0 | 0 | 31,200 | |
| リース料 | | 240,000 | 240,000 | 240,000 | PC、FAX等 |
| 保険料 | | 15,000 | 15,000 | 15,000 | |
| 租税公課 | | 700,000 | 700,000 | 600,000 | 消費税、固定資産税、他 |
| 業務委託費 | | 1,600,000 | 1,600,000 | 1,600,000 | 会員管理、会計業務 |
| 雑費 | | 80,000 | 80,000 | 80,000 | |
| 建物減価償却費 | | 0 | 0 | 112,400 | |
| 退職給付引当金繰入 | | 55,800 | 55,800 | (55,800) | |
| 経常費用計 | 52,170,120 | 9,978,000 | 62,148,120 | 59,779,806 | |
| 当期経常増減額 | △ 30,185,120 | 19,383,500 | △ 10,801,620 | △ 7,618,306 | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | |
| ① 雑収益 | | | 0 | 0 | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 経常外費用 | | | | | |
| ① 雑損失 | | | 0 | 3,000,000 | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 3,000,000 | |
| 当期経常外増減額 | | | 0 | △ 3,000,000 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 30,185,120 | 19,383,500 | △ 10,801,620 | △ 10,618,306 | |
| 一般正味財産期首残高 | 25,633,238 | 109,670,165 | 135,303,403 | 140,939,331 | |
| 一般正味財産期末残高 | △ 4,551,882 | 129,053,665 | 124,501,783 | 130,321,025 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | |
| ① 受取補助金等 | | | | | |
| 助成金収入 | | | | 0 | |
| 受取寄付金 | | | | 0 | |
| 一般正味財産への振替額 | 0 | | 0 | 500,000 | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | △ 500,000 | |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | | 0 | 500,000 | |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| III 正味財産期末残高 | △ 4,551,882 | 129,053,665 | 124,501,783 | 130,321,025 | |

第3号議案 役員の新任・退任の承認

役員の新任（2015年度通常総会～2017年度通常総会）

| | |
|----|----------------|
| 理事 | 間藤 徹* |
| | 犬伏和之*・木村 武 |
| | 原田靖生・安西徹郎 |
| | 渡邊浩一郎・相崎万裕美 |
| | 須藤重人・岡本 保 |
| | 中西啓仁・國頭 恭 |
| | 矢内純太・大塚重人・白戸康人 |
| | 徳田進一 |
| | 和崎 淳・高田裕介 |
| | 菅野均志 |
| 監事 | 上沢正志*・深見元弘* |
| | (*選挙により当選) |

役員の退任（2013年度通常総会～2015年度通常総会）

| | |
|-----------|----------------|
| 会長 | 小崎 隆 |
| 副会長 | 間藤 徹・安西徹郎 |
| 常務理事 | 原田靖生 |
| 会計担当理事 | 野口 章・渡邊浩一郎 |
| 会誌担当理事 | 相崎万裕美・須藤重人 |
| 欧文誌担当理事 | 中西啓仁・原田直樹 |
| 渉外担当理事 | 矢内純太・大塚重人・白戸康人 |
| 部門長会議担当理事 | 徳田進一 |
| 広報担当理事 | 木村園子ドロテア・和崎 淳 |
| 教育担当理事 | 田中治夫 |
| 監事 | 松本 聰・上沢正志 |

第4号議案 名誉会員の推薦

西尾道德会員は長きにわたり、農林水産省農事試験場（農業研究センター）、（独）農業環境技術研究所および筑波大学において土壌学に関する研究に精励し、優れた研究業績をあげてきた。とくに、連作障害の原因や畑への堆肥施用の効果について土壌微生物学の観点から解明した。また、統計情報等を用いて農業に起因する負荷窒素量を求め、これが集約農業地帯で地下水の硝酸性窒素汚染の原因であることを証明した。西尾会員は土壌微生物研究の第一人者であるのみならず、環境保全型農業に関わる様々な情報を整理し多くの著書等として発信しており、環境保全型農業研究の第一人者でもある。

委員等については、1996年から2002年まで日本農学会評議員、2000年から2003年まで日本学術会議 土壌・肥料・植物栄養学研究連絡委員会委員、2001年から2003年まで環境省中央環境審議会委員、2004年から2007年まで総合科学技術会議専門委員を務めた。また、2004年から2008年まで農林水産省消費安全局総合的病虫害管理（IPM）検討会委員、2007年から2008年まで農林水産省生産局 今後の環境保全型農業に関する検討会委員を務めた。

日本土壌肥料学会においては1996年から2000年まで副会長、2000年から2002年まで会長を務めた。その間、学会ホームページ管理の外部委託、定期大会開催時期の変更、会誌および欧文誌のA4版化を行うなど、本会の発展に大きく貢献した。

以上の功績により、2014年度第5回理事会において、定款第5条2(4)に基づき西尾道德会員を名誉会員に推薦することとしたので、審議をお願いしたい。

参考

2015 年度役員、代議員等一覧

役員（20名）

| | |
|-----------|----------------|
| 会長 | 間藤 徹 |
| 副会長 | 犬伏和之・木村 武 |
| 常務理事（常勤） | 原田靖生 |
| 常務理事 | 安西徹郎 |
| 会計担当理事 | 渡邊浩一郎・相崎万裕美 |
| 会誌担当理事 | 須藤重人・岡本 保 |
| 欧文誌担当理事 | 中西啓仁・國頭 恭 |
| 渉外担当理事 | 矢内純太・大塚重人・白戸康人 |
| 部門長会議担当理事 | 徳田進一 |
| 広報担当理事 | 和崎 淳・高田裕介 |
| 教育担当理事 | 菅野均志 |
| 監事 | 上沢正志・深見元弘 |

代議員（100名）

（北海道支部 定員 10名）

大崎 満、岡 紀邦、奥村正敏、加藤 淳、澤本卓司、志賀弘行、谷 昌幸、中津智史
波多野隆介、日笠裕治

（東北支部 定員 12名）

青山正和、伊藤豊彰、金田吉弘、齋藤雅典、佐藤 孝、信濃卓郎、俵谷圭太郎、高橋 正
南條正巳、西田瑞彦、藤井弘志、三浦憲蔵

（関東支部 定員 41名）

荒尾知人、太田寛行、大谷 卓、大山卓爾、小川吉雄、尾和尚人、加藤直人、金澤健二
金子文宜、亀和田國彦、川崎 晃、川東正幸、木村園子ドロテア、木村真人、後藤逸男
坂本一憲、隅田裕明、関本 均、妹尾啓史、高橋能彦、田中治夫、田村憲司、豊田剛己
鳥山和伸、橋本知義、長谷部亮、早津雅仁、原田久富美、樋口恭子、平舘俊太郎、藤原俊六郎
藤原 徹、牧野知之、陽 捷行、三輪睿太郎、森 敏、八木一行、山口紀子、横山 正、吉川省子
米山忠克

（中部支部 定員 11名）

浅川 晋、池田彰弘、磯井俊行、小川直人、糟谷真宏、三枝正彦、水野隆文、高橋和彦
村瀬 潤、森田明雄、渡邊 彰

（関西支部 定員 17名）

赤井直彦、岩崎貢三、内山知二、櫻井克年、実岡寛文、柴原藤善、真常仁志、田中壮太
野村美加、藤嶽暢英、藤山英保、舟川晋也、前田守弘、馬 建鋒、増永二之、山本洋子
松森堅治、

（九州支部 定員 9名）

荒川祐介、草場 敬、佐伯雄一、境 雅夫、染谷 孝、樗木直也、古江広治、山川武夫
和田信一郎

部門長

(第1部門) 小林政広 (第2部門) 藤嶽暢英 (第3部門) 早津雅仁
(第4部門) 小山博之 (第5部門) 三浦憲蔵 (第6部門) 新良力也
(第7部門) 伊藤豊彰 (第8部門) 原田久富美 (第9部門) 福田直

支部長

北海道 志賀弘行 東北 齋藤雅典 関東 犬伏和之
中部 磯井俊行 関西 野村美加 九州 境雅夫

会誌編集委員会

委員長 齋藤雅典

常任編集委員 七夕小百合、眞家永光、角田憲一、野副卓人、藤原英司、加藤拓
藤井一至、渡邊健史、大津直子、森下智陽、赤井直彦、原嘉隆

地域担当編集委員

北海道 岡紀邦、加藤淳、谷昌幸 東北 関矢博幸、金田吉弘、中川進平
関東 駒田充生、山田和義、八島未和 中部 棚橋寿彦、小池潤、岡村穰
関西 内山知二、野村美加、大家理哉 九州 境雅夫、荒川祐介、脇門英美

欧文誌編集委員会

委員長 波多野隆介

国内編集委員 間藤徹、林健太郎、舟川晋也、熊田千尋、小林政広、西村拓

川東正幸、平館俊太郎、藤嶽暢英、松永俊朗、齋藤勝晴、沢田こずえ、鮫島玲子
坂本一憲、豊田剛己、森本晶、西澤智康、小山博之、大竹憲邦、大津直子、小林優
石川覚、中西啓仁、岩崎貢三、三浦憲蔵、久保寺秀夫、西田瑞彦、矢内純太、新良力也
伊藤豊彰、高橋智紀、中辻敏朗、平井敬三、程為国、白戸康人、武田晃、原田久富美
高階史章、藤間充

海外編集委員 Roland Buresh、Randy A. Dahlgren、Yahai Lu、G.N. Magesan

Rachid Serraj、Sumitra Poovarodom、Xiaoyuan Yan、Jae E. Yang、Kyung-Sook Whang

2015年度年次大会（京都）運営委員会

運営委員長：舟川晋也、事務局長：真常仁志、副事務局長：渡邊哲弘

運営委員：間藤徹、小林優、落合久美子、森塚直樹、矢内純太、中尾淳、三俣延子
藤井孝夫

国際土壌年2015企画委員会及び実行委員会

企画委員会：三輪睿太郎、陽捷行、松本聰、平井英明、齋藤雅典、木村武、小崎隆
矢内純太、白戸康人、原田靖生

実行委員会：小崎隆（委員長）、犬伏和之、木村武、渡邊浩一郎、相崎万裕美、矢内純太
白戸康人、和崎淳、高田裕介、大塚重人、須藤重人、原田靖生